

タイトル：英簿テンプレート使用の時は英文のみ、
日本語テンプレート使用の時は日本語・英語並記

使用したビームラインの名前
と番号

BL-15A2/202XG123

PF アクティビティレポート：ユーザーレポートについて PF Activity Report: Users' Report

筑波太郎^{1,*}, 桜咲² ← 著者名は姓名とも綴る

¹ 高エネルギー加速器研究機構 物質構造科学研究所, 〒305-0801 茨城県つくば市大穂 1-1
200大学, 〒123-4567 東京都××市 1-1-1
Taro TSUKUBA^{1,*} and Saki SAKURA²
¹Institute of Materials Structure Science, High Energy Accelerator Research Organization,
1-1 Oho, Tsukuba, Ibaraki 305-0801, Japan
²University of ○○, 1-1-1 ××, Tokyo 123-4567, Japan

アブストラクトはオプションとします。レポートが長い場合等、必要に応じてこの部分に御記入ください。必要のない場合は消去して下さい。

1 はじめに

物質構造科学研究所 放射光実験施設 (Photon Factory, PF) では、施設の活動報告集として毎年 Photon Factory Activity Report (PFACR) を発行して、PF の活動を広く国内外に紹介しています。

2 実験

実験課題の有効期間中あるいはその後に、原則として一課題あたり少なくとも一報のユーザーレポートの提出が必要となっています。過去の PFACR にすでにレポートを提出している方は今回新たにレポートを提出していただく必要はありませんが、もし実験課題に関して新たな研究成果等がありましたら、再度の投稿をご検討いただけますと幸いです。

3 結果および考察

ユーザーレポートは年間を通して、ほぼいつでも投稿可能です。投稿の準備が整い次第、速やかご投稿下さい。なお、年度毎にまとめるために毎年一回の締め切りを設定しています。締め切り後に投稿されたレポートは自動的に次の号に掲載されることになります。

Photon Factory Activity Report には毎年出版物リストをつけています。これは PF で行われた研究を基に執筆された論文リストで、これまた PF の活動のバロメータでもあります。まだ登録されていない論文をお持ちの場合は、下記のサイトから登録して下さい。以前に出版されたものでも結構ですので、ぜひ登録をお願いします。

<https://www2.kek.jp/imss/pf/science/pubdb/>

4 まとめ

皆様のレポートは PF の研究活動を計る重要な物差しであり、PF の支援ひいては皆様の研究環境の改善にも繋がる大切なものですので、この機会に是非ともご寄稿をよろしくお願いします。



図1：これは PF のロゴマークです。

図はカラー推奨、EPS 形式の図を使用する場合はフォントを埋め込むか、文字をアウトライン化して文字化けしないように注意する。

謝辞

謝辞の項目はオプションとしますので必要がなければ消去下さい。このテンプレートは、過去に PF スタッフの作業の結果、出来たものです。ここに感謝致します[2]。

参考文献

- [1] T. Tsukuba et al., PF Highlights 2017, 12 (202X).
- [2] I. Oho and S. Sakura, *Phys. Rev. Lett.* **120**, 10101 (202Y).

成果

- 1. 受賞、知的財産権、学会発表等、特筆すべきものがあればご記入下さい。
- 2. 成果の項目はオプションとしますので必要がなければ消去下さい。

* abcd-efg@zzz.jp

連絡担当著者の電子
メールアドレス

注意事項

- 1) pdf 変換の際には文字化けを考慮し、フォントの埋め込みを行う。
- 2) 本文及び図の中で使用するフォントはテンプレートの設定を使用する。
- 3) ユーザーレポート1件の長さは最長6ページ
- 4) ファイル名には日本語、スペースを使用しない